

事業所名

放課後等デイサービスよつば

## 支援プログラム (参考様式)

作成日

6年

4月

1日

法人(事業所)理念	①愛情と理解をもって、子どもたちの成長と自立を応援します。 ②子どもたちの個性を大切に、多様な活動を通じた成長支援を行います。 ③子どもたちが安心して過ごせる場所を見つけられるよう保護者との連携を大切にします。		
支援方針	個々の特性を理解し、スモールステップで『できた。できる。楽しい、もっと!!』とチャレンジしたい気持ちを育みます。 それぞれが持っている沢山の良い所を見つけ伸ばして行けるようにします。 関係機関との連携を密にし、より良い支援に繋げることを目指します。		
営業時間	11時00分から17時0分まで	送迎実施の有無	あり なし 送り時間については要相談
支援内容			
本人支援	健康・生活	送迎時、学校や家庭での様子を伺い、心身の状態を把握し、スタッフ間で共有します。 通所時の流れ(手洗いうがい、提出物、衣類の着脱、決められた場所への片付け)が定着するよう構造化し、環境を整えます。 長期休み中はラジオ体操や散歩を行います。通所時にはその日のスケジュールの確認や、児童の意見を聞く場を設けています。	
	運動・感覚	遊具を使った運動遊びや、ルールのある遊びを通して身体の使い方、制作活動を通して手先の使い方などを支援します。 好ましい姿勢や、道具の使い方など個々に合わせた支援を行います。音の刺激に弱い児童には、イヤーマフの使用や、個別での対応を行います。 体力づくりや、小集団での行動が身に付くよう数人での散歩も行っています。	
	認知・行動	スケジュールの提示で次の行動を予測し、安心して過ごせるよう支援します。 おやつ作りや、調理実習を通して説明を見て確認し、行動に移す経験を積み重ねていきます。	
	言語コミュニケーション	言葉でのコミュニケーションが苦手な児童には絵カードや、ジェスチャーなどで本児の思いを汲み取ります。 興味のある物をお友だちと共有することで輪が広がったり、『思いが伝わった嬉しい』体験を積み重ねていきます。	
	人間関係社会性	集団での活動を通してルールや、順番や待つなど楽しみながら身につくよう支援します。集団が苦手な児童にはスタッフが入り小集団で安心して取り組めるよう外出活動や、買い物学習を通してその場に適した行動が身に付くよう支援します。 適度な距離感が取れるよう支援します。	
家族支援	保護者支援の為、延長支援を行っています。 学校、医療連携を行います。 保護者への相談援助を行っています。	移行支援	学校や関係機関と連携し、必要に応じ相談対応しています。
地域支援・地域連携	地域のネットワーク会議参加。 南丹地域の情報交換会。	職員の質の向上	外部(随時)内部(年2回)研修実施。 スタッフミーティングの実施。
主な行事等	季節の行事(お花見、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、初詣)公園遊び、プール(5月~10月)外出活動、外食活動、卒業お祝い会(カラオケ、ボーリング)避難訓練(年2回) 予定が変更になる場合もあります。		